

果実のひび割れ・カルシウム+ホウ素欠乏 軽減剤

グリベテン

GLY
BETEN

- 高濃度のグリシンベタインが優れた浸透圧調整作用を発揮し、植物や果実の水分や熱ストレスに起因する生理障害から植物を保護します。
- カルシウムとホウ素の相互作用により、植物の細胞組織を強化し、弾力性を与えます。
- 奇形果の発生を減らし、微小なひび割れ、裂果や葉の傷みを軽減して出荷可能な果実の量を増やします。
- カルシウム・ホウ素欠乏症にも効果があります。



成分

保証成分量		配合成分値		含有値	その他の成分
窒素全量	カリ	ホウ素	カルシウム	グリシンベタイン	
3.0%	0.4%	1.3%	8.0%	○	

グリベテンに含まれる成分とその働き

生理障害が起こる仕組み

環境ストレスにより、果皮や新葉に生理障害が発生します。(右ページ参照)

干ばつ・高温・塩過剰・老化など

植物体内では
細胞膜が過剰収縮

大雨・水害・高湿度など

植物体内では
細胞壁が過剰に膨らむ

グリベテンを使用すると

グリシンベタイン

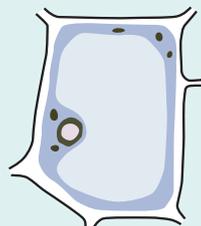
- ・高湿度、低湿度、高塩分条件下での浸透圧のバランスをとる
- ・光ストレスによる酸化反応を防ぐ光化学系IIの調整
- ・温度ストレスにより抑制されがちなルビスコの活性化、炭素固定を増加
- ・生殖器官の保護

カルシウム+ホウ素

- ・果皮の小さな傷を軽減
- ・水分や熱ストレスに関連する生理機能を高める
- ・収穫後の棚持ちをよくする
- ・細胞壁を強化、柔軟化
- ・組織がしっかりして、特定の真菌に対する耐性を向上

グリベテンを施用することで細胞壁が柔軟になり、細胞膜内の外部濃度と内部濃度が大きく変化しないように調整し、細胞膜と細胞質の収縮と膨張の働きが円滑になります。

生理障害が
起こりにくくなる!



果実の裂果・葉の傷みが軽減

■植物への効果

- 水分過剰によるトマトの裂果防止
- 高温による果菜類の奇形発生を軽減
- トマトの尻腐れ、ハクサイの芯腐れ、レタス・イチゴ・カーネーション・トルコギキョウのチップバーンを予防
- 曇天期、低温期の光合成向上
- 干ばつ、高温期の水枯れを軽減

■果皮や新葉の生理障害事例



トマトの裂果



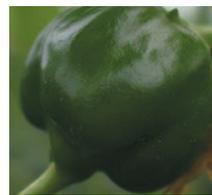
トマトの微小な裂果



ピーマン・パプリカの微小な裂果



サクランボの裂果



ピーマンの奇形果



リーフレタスのチップバーン



イチゴのチップバーン



カーネーションの葉先枯れ

■施用量・施用方法

- 葉面散布:1~5ml/ℓ(200~1,000倍)
200~400ml/10a
- カルシウム・ホウ素欠乏症が発生する前後で適宜散布してください。
- 下記の表を参考に、生長に合わせて2~6回散布してください。

植物	症状(生理障害)など	施用事例	施用量
葉菜類	チップバーン・芯腐れなど	乾燥時、結球後~収穫期	500~2,000倍 または200~400ml/10aに希釈して葉面散布
果菜類	奇形果、裂果、尻腐れ	開花期~果実肥大期	200~1,000倍 または200~400ml/10aに希釈して葉面散布
花き類	新梢の葉先枯れ	急生長期・開花前・蒸散変化時	200~1,000倍 または200~400ml/10aに希釈して葉面散布
果樹類 ブドウ・ワインブドウ	着色不良、葉のつやが悪い時、カルシウム欠乏など	開花前後 着果期15~20日毎	200~500倍 または200~400ml/10aに希釈して葉面散布
サクランボ すもも・モモ	裂果、うるみ果、葉のつやが悪い時	萌芽前・落花後 果実肥大期	200~500倍 または200~400ml/10aに希釈して葉面散布
亜熱帯果樹	裂果	落花後15~20日毎	200~1000倍 または200~400ml/10aに希釈して葉面散布
オリーブ	奇形果、葉のつやが悪い時	萌芽期・開花期	200~1,000倍 または200~400ml/10aに希釈して葉面散布
柑橘類	奇形果、葉のつやが悪い時	萌芽前・落花後 果実肥大期	200~500倍 または200~400ml/10aに希釈して葉面散布
穀物類	高温・乾燥	分けつ期・ストレス時	50ml/10aに希釈して葉面散布
ジャガイモ	カルシウム欠乏など	生長期・ストレス時	200~500倍 または200~400ml/10aに希釈して葉面散布
ピート・綿など	高温・乾燥	生長期・ストレス時	50ml/10aに希釈して葉面散布